



順天堂大学医学部附属順天堂医院 がん治療センターニューズレター

平成 23 年 5 月 第 7 号

がん治療センターでは、
病気の治療だけでなく、患者さんやご家族の不安・悩みを解消する心のケアなどを行っています。

目次

- | | | | |
|-------|---|-------|--------------------------------------|
| 表紙 | 「新院長からのご挨拶」 順天堂医院 院長 高崎芳成 ・がん治療センターからのお知らせ | 3 ページ | 取材ノート「放射線診断による被曝」 放射線科 教授 桑鶴 良平 |
| 2 ページ | 「がんの常識・非常識」-第 2 回 人体病理病態学講座 前任准教授 三富 弘之 ・院内がん登録 2009 報告 第 1 回 | 4 ページ | 「旬の食材」 栄養部 飯島 香織 ・質問コーナー ・編集後記 |

新院長からのご挨拶

学是「仁」

順天堂医院 院長

高崎 芳成



この度、四月一日より院長に就任いたしました。当院は、昭和四十四年以来、高度な専門性を有する診療を目指すべく、全国に先駆けて専門診療科を作ってきました。一方、学是である「仁」の精神にもとづき、専門的知識を有する各科の医師、診療にかかわる看護師、そしてその他関連する全ての職種の人々が力を合わせ、一丸となってそれぞれの患者さんに最適で最高の医療を提供すべく努力をしてきました。このようなチーム医療が、がんの治療を受ける患者さんに最も大切なことと認識し、より良い「がん治療センター」の環境作りに努力したいと思っています。

がん治療センターからのお知らせ

・第七回市民公開講座

講演 1 「前立腺肥大症と前立腺がんは どう違うの？」
山梨大学大学院

泌尿器科学講座 教授 武田 正之
講演 2 「前立腺がんになったら どうするの？」
泌尿器科 教授 藤目 真

講演 3 「放射線、放射能と体」
放射線科 教授 笹井 啓資

場所：順天堂大学有山登記念館講堂
日時：六月四日（土）午後二時～四時
事前予約は不要です。（定員は二〇〇名）
開場時間は午後一時となっております。

・がん茶論

患者さんやご家族と医療者が自由に語り、話し合う場です。（定員は三十名）
場所：三号館二階がん治療センター

時間：午後一時三十分～三時三十分
* 六月十八日（土）* 七月二日（土）
* 九月三日（土）

・ミニレクチャー

患者さん向けのレクチャーです。
（定員は二十名）

場所：三号館二階がん治療センター
時間：午前十時～十一時三十分
* 六月四日（土）* 七月二十三日（土）
* 九月二十四日（土）

問合せ先：〇三 五八〇二 八一九六

東北地方太平洋沖地震等で被災された皆様へ

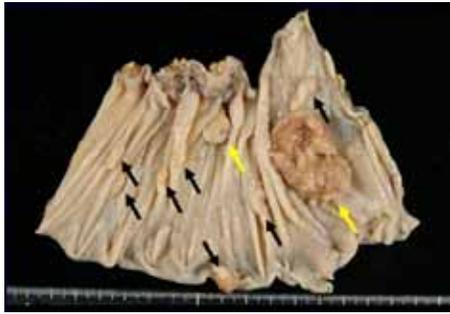
この未曾有の大災害により被災された全ての方々に心からお見舞い申し上げます。被災地域の一日も早い復興を心よりお祈りいたします。 がん治療センタースタッフ一同

「がんの常識・非常識」

・第二回 がんは遺伝するか？
 人体病理病態学講座 先任准教授 三富 弘之



がんは、遺伝子がさまざまな要因によつて、傷ついておこる遺伝子の病気で、いくつかの遺伝しやすいがんを除くと、一般的には遺伝する病気ではありません。消化器の癌を例にとると、食道癌や胃癌は遺伝傾向は強くありませんが、大腸癌の約半数程度が遺伝性と推測されています。遺伝性大腸癌のうち、原因遺伝子が第五番染色体に存在することが明らかになっている「家族性大腸ポリポーシス」は、大腸全域に腺腫性ポリープ（前癌病変：写真中の黒色矢印）が多発し、その中のいくつかは癌化し（写真中の黄色矢印）、



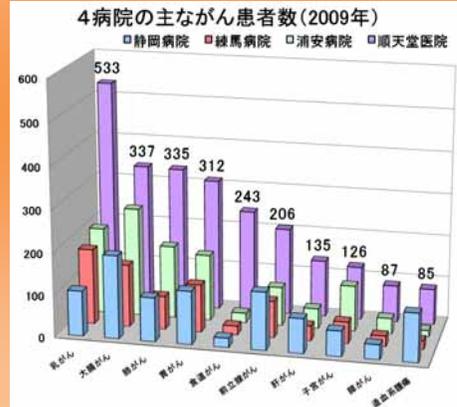
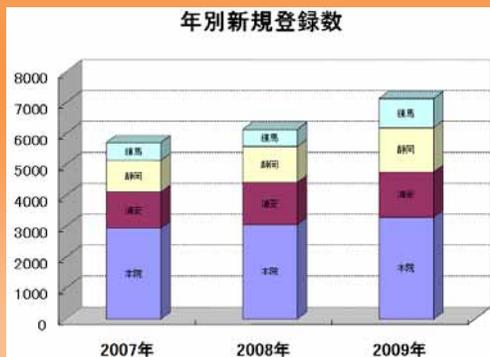
家族性大腸ポリポーシス癌化例

癌化率は四十歳台でほぼ五〇%、放置した場合の生涯にわたる癌化率はほぼ一〇〇%といわれています。しかし、家族性大腸ポリポーシスのような恐ろしい遺伝性のがんは五%以下と少なく、実際には遺伝要因が明らかでないがんが多くを占めています。

人はそれぞれ、がんが発症する臨界点に個人差があり、がんが多い家系の人では、がん発症の臨界点が低い体質が遺伝すると考えられます。一方、そのような体質が遺伝しなくとも、がんが発症しやすい生活を続ければ臨界点が下がり、がんが発症しやすくなる可能性もあります。遺伝性のがんが心配な場合には、遺伝カウンセリングが必要になりますが、それ以外の場合は、がんになりやすい食生活や生活環境を改善したり、定期的な健康診断でがんを早期に発見することが重要といえます。

院内がん登録 2009 報告 - 第 1 回 -

順天堂大学では拠点病院 3 施設、認定病院 1 施設が院内がん登録業務を行っており、全国からの登録が国立がん研究センターで集計されています。今回は 2009 年の統計ができましたのでお知らせします。順天堂の各病院では年毎に新規患者さんが増加しています(左図)。全国の大学病院の中では最も多い登録数です。2009 年の順天堂医院(本郷)での 5 大がんは乳がん、大腸がん、肺がん、胃がん、食道がんでした(右図)。



取材ノート「放射線診断による被曝」

放射線科 教授 桑鶴 良平

福島の原子力発電所事故の影響により、人々の放射線被曝への関心が高まっています。今回は、放射線診断（検査）による被曝について、放射線科教授の桑鶴先生にお話を伺いました。

がん治療センター担当者（以下がん治）：最近、放射線被曝による発がんリスクが話題になっていますが、放射線診断の被曝について教えてください。

桑鶴：はい。人間は普通に生きていくだけで自然からの放射線を浴びています。でも健康には影響ありません。つまり、放射線による健康被害は、どのくらい放射線を浴びたか（被曝したか）によります。放射線での検査といえば、胸のレントゲンやCT、PETなどを想像される方が多いと思いますが、これらの検査による被曝量が発がんのリスクが

高まったという確かな証拠は見つかっていません。また、最近では診断装置の技術進歩によって、同じ検査を行っても、撮影時の被曝量が以前より減っていますので、検査のリスクはどんどん減ってきてい

ます。ちなみに、MRIや超音波の検査では放射線を使いませんので被曝することはありません。



がん治・白本は諸外国と比べて放射線診断を行う回数が多いと言われるますが、問題ないのでしょうか？



桑鶴：確かに日本では放射線の検査が多いと言われますが、近年は被曝低減の技術も発達していますので、担当医が放射線による検査が必要だと判断した場合は、ぜひ検査を受けていただきたいと思います。放射線被曝による発がんリスクよりも、見つかるはずの病気を見逃す方が重大な問題です。放射線に関して心配な点がございましたら、何でも担当医にご相談いただき、疑問を解消してから検査を受けてください。そうすれば、正しい情報が得られ、より安心して診療が受けられると思います。

がん治：お忙しいところどうもありがとうございます。

（担当：富宇賀・小澤）

桑鶴 良平（くわつる・りょうへい）

順天堂大学医学部・大学院医学研究科教授、医療看護学部教授、医療情報管理室室長。平成二年順天堂大学大学院卒業 医学博士

各種パンフレットあります！

がん治療センターには、がん情報に関する冊子が多数用意してあります。皆さんがお探しの情報が見つかるかもしれません。お持ち帰りいただける資料もございますので、3号館2階のがん治療センターへどうぞお気軽にお立ち寄りください。

旬の食材

栄養部 飯島 香織

はや夏の気配が感じられる頃となりました。この時期は季節の変わり目でもあり気温の変化が激しく、体調を崩される方も多く見られます。旬の食べ物は栄養価に優れ、私たちの免疫力や自然治癒力を高める効果があります。旬の食材を積極的に取り入れ、体調管理を心掛けましょう。

今回は初夏に出回る旬の食材についていくつか紹介したいと思います。

アスパラ ... アスパラギン酸とルチンという栄養成分が含まれており、美肌効果や疲労回復、高血圧の予防に効果があります。

グリンピース ... たんぱく質、糖質、ミネラル、ビタミン、食物繊維など多くの栄養素を含み、抗酸化作用や疲労回復の効果があります。

新ごぼう ... 食物繊維を多く含みます。食物繊維の一種のリグニンは大腸癌の予防に、イヌリンは糖尿病の予防に効果があります。

鱈 ... たんぱく質以外にビタミン、カリウム、タウリンなど様々な栄養素がバランスよく含まれています。また鱈の脂質には「DHA（ドコサヘキサエン酸）」や「EPA（エイコサペンタエン酸）」が豊富に含まれており、脳や神経組織の発育や維持に効果があります。



質問コーナー

(第6回市民公開講座の参加者アンケートより)

Q：放射線治療で頭髪が抜けるのは何故ですか？

A：放射線治療は手術と同じで身体の一部にしか行わず、効果も副作用も治療した部分にしか出ません。ですから、脳腫瘍などで頭部に治療すれば、放射線が通った場所の髪の毛だけが抜けます。毛根の細胞は放射線感受性が高い(放射線に弱い)からです。頭部に治療をしなければ、放射線治療で頭髪は抜けませが、患者さんは全身的に副作用がでる抗がん剤の脱毛を、放射線のせいと勘違いすることが多いようです。(回答者：放射線科 先任准教授 唐澤 久美子)

がん治療センターでは...

がんの治療のみならず、患者さんやご家族の不安、悩みに対するケアを目的として、電話相談、緩和ケア外来、がんセカンドオピニオン外来、コメディカル相談、がん茶論、外来化学療法などの総合的な取り組みを行っています。どうぞお気軽に、何でも下記連絡先までご相談ください。

がん治療センターニューズレター
平成二十三年五月 第七号
創刊：平成二十一年五月(年三回発行)
発行元：順天堂医院 がん治療センター
住所：東京都文京区本郷三 一 三
電話番号&ファクシミリ：〇三 五八〇二 八一九六
Eメール：cancer@untendo.ac.jp
ホームページ：http://www.juntendo.ac.jp/hospital/cancer/index.html

東日本大震災で被災した皆様からのお見舞い申し上げます。私は放射線物理学を専門とした医学物理士という職種であるため、友人や知人から今回の原発事故に関する質問を受けることが多いです。今までの私は、自分の専門知識を生かして人々の生活を豊かにすることがばかり考えてきましたが、今回の震災時のような緊急事態には、そのような思考回路では対応できないことに気付きました。日本医学物理学会が発行する医学物理士の役割の中に、災害時の対応というような内容は全く含まれていませんし、今回のような非常事態で医学物理士に何ができるのか議論をしたこともありません。学会としての対応を議論している間に、IAEAなどの国際機関や海外の医学物理学関連学会からは今回の震災への対応に関する文書が多数発行されました。渦中の日本医学物理学会からは何も出ない。何とかしないとといけません。

編集担当・小澤 修一

編集後記